



医療連携だより [アシスト]

ASSIST

2024.2
No.61

帝京大学医学部附属病院



contents

栄養サポートチーム 入院患者さんの栄養改善を目指した取り組み

帝京大学医学部附属病院 栄養サポートチーム長 宇野 健司

摂食嚥下支援チーム SSTのご紹介

帝京大学医学部附属病院 摂食嚥下支援チーム長 緒方 直史

緩和ケアチーム 多職種が患者さんを支え、チーム医療の質の向上にも取り組む

帝京大学医学部附属病院 緩和ケアチーム長 有賀 悦子

医療連携室より ～第10回帝京大学医療連携セミナーを終えて～

Nutrition Support Team

栄養サポートチーム

帝京大学医学部附属病院 栄養サポートチーム長 宇野 健司

入院患者さんの栄養改善を目指した取り組み

帝京大学医学部附属病院栄養サポートチーム（Nutrition Support Team）は、2013年に多職種による医療連携チームとして院内に設立され、今に至るまで活動しています。当院のNSTは、日本臨床栄養代謝学会から、NST稼働施設としてだけでなく、NST専門療法士実地修練認定教育施設としても認定され、今このとき入院されている患者さんの栄養管理を行うとともに、これから未来のNSTを担当する人材を育成する役割も担っています。

現在のNSTメンバーは、医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、言語聴覚士、歯科衛生士などの多職種で構成されています。これら、さまざまな専門的技量を持つメンバーが、一同に集まり協力することで、非常に有意義なチーム医療を構築し、患者さんに対するきめ細やかな栄養サポートを行うことに繋がっています。

普段のNSTの活動は、看護師や管理栄養士により、いろいろな背景をもつ入院患者さんの栄養状態を、

ベッドサイドで把握することから始まります。その中で、栄養改善が必要と考えられる患者さんについては、症例として毎週火曜日に開催のNSTカンファレンスに提示して、多職種でさまざまな議論を交わし、個別に栄養改善のアイデアを提案していきます。その後、約15人の患者さんに対して、NSTメンバー全員で実際に回診して、カンファレンスで提案したアイデアが本場に最適なものが、確認していきます。回診後には、NSTからの提案として、担当の主治医にフィードバックし情報を共有して、患者さんの栄養改善に務めるようにしています。

また、当院内や他施設の希望者を募り、年1回、2週間にわたりNST臨床実地修練を開催し、これからNSTを志す新しいスタッフの育成にも尽力しています。

これからも、当院のNSTに対して変わらぬご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



NSTスタッフ



NSTチームによる回診の様子



帝京大学医学部内科学講座 准教授
栄養サポートチーム長

宇野 健司 (うの けんじ)

2000年3月 東北大学医学部医学科卒業
2000年4月 福島県いわき市立総合磐城共立病院
2003年4月 東北大学大学院医学系研究科 博士課程
(東北大学病院糖尿病代謝科)
2007年4月 日本学術特別研究員(東北大学病院糖尿病代謝科)
2010年4月 東北大学病院糖尿病代謝科 助教
2015年1月 東北大学病院糖尿病代謝科 院内講師
2018年4月より現職
2020年4月より栄養サポートチーム長

【所属・資格】

- 日本内科学会(認定内科医、総合内科専門医、内科指導医)
- 日本糖尿病学会(糖尿病専門医、研修指導医)
- 日本肥満学会(肥満症専門医)
- 日本消化器病学会
- 日本内分泌学会
- 日本動脈硬化学会
- 日本生活習慣病学会
- 日本糖尿病合併症学会、
- 日本臨床栄養代謝学会

栄養サポートチームのウェブサイトはこちら▶



SSTのご紹介

超高齢化社会に突入している日本では、既に高齢者の人口が30%近くとなり年々増加の一途を辿っています。高齢者では足腰が弱くなるだけでなく飲み込む力も弱くなり、摂食嚥下機能が低下して誤嚥性肺炎になってしまうことも多く、日本人の死亡原因でも肺炎と誤嚥性肺炎を合わせると、老衰を除けば悪性新生物・心疾患に次いで第3位となっています。また、嚥下機能障害により栄養摂取経路として経管栄養や胃瘻が必要となることも多く、介護予防ならび生活の質(QOL)の維持のためにも、高齢者の嚥下機能障害に対する予防・治療法の確立が必須となっています。

そこで、当院でも2022年4月より摂食嚥下支援チーム(Swallowing Support Team II以下SST)が設立されました。当院のSSTは、摂食嚥下障害を有する患者さんに対し、摂食嚥下に関する専門知識を有した多職種から構成されています。摂食嚥下支援チームが診療することで、摂食嚥下機能の回復や、誤嚥性肺炎や窒息等のリスクを回避した食支援を行い、QOLの向上につなげることを目的としています。

SSTのメンバーには、リハビリテーション科だけでなく、耳鼻咽喉科や歯科口腔外科の医師も含まれ、3科合同でカンファレンスを行っています。その他にも、摂食嚥下障害看護認定看護師や言語聴覚士、歯科衛生士や管理栄養士、薬剤師が参加し、多方面から摂食嚥下障害のフォローをしています。SSTを保有している大学病院は、全国でも半数

以下であり、3科の医師が合同でチームを組んでいる大学病院はほとんどありません。チームで対応することで、嚥下内視鏡検査、口腔ケア、機能訓練などに対して一貫した方針を立てることが出来ます。当院のSSTは2022年に設立したばかりではありますが、他に劣ることの

ない専門知識を有したチーム医療を行っています。対応患者数も増えていて、摂食嚥下機能の維持、誤嚥性肺炎の予防に少しでも役立つよう、チーム一丸となって尽力してまいります。そして1人でも多くの患者さんが、安全な食形態での食事摂取が行えるように支援していく所存です。是非、これからのSSTの活動に注目していただき、活用していただきたいと思います。



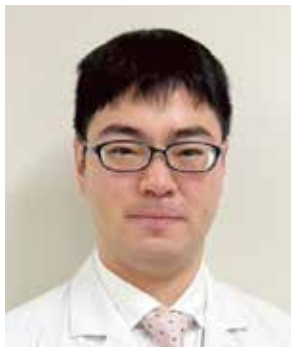
摂食嚥下支援チームのスタッフ



検査の様子

帝京大学医学部附属病院 摂食嚥下支援チーム長 緒方直史

チームリーダーご紹介



帝京大学医学部リハビリテーション医学講座 助手
帝京大学医学部附属病院 リハビリテーション部 副部長
内田 健太 (うちだ けんた)

2018年 帝京大学医学部 卒業
2018年 帝京大学医学部附属溝口病院 初期研修
2020年 帝京大学医学部リハビリテーション医学講座 入局
2023年 同助手
2023年 帝京大学医学部附属病院リハビリテーション部 副部長

【所属・資格】
●日本リハビリテーション医学会
●日本義肢装具学会
●リハビリテーション科 専門医
●義肢装具等適合判定医

摂食嚥下支援チームのウェブサイトはこちら▶



多職種が患者さんを支え、チーム医療の質の向上にも取り組む

1 緩和ケアセンターの機能と役割

緩和ケアセンターは、緩和ケア内科の「外来（症状緩和・がん患者支援外来）」、メンタルヘルス科、循環器内科も加えた多職種チームによる「緩和ケアチーム（入院がん・心不全患者のコンサルテーション）」、医療ソーシャルワーカーや相談に軸足がある「AYA世代支援チーム（15〜39歳のがん患者）」、公認心理師や看護師の「がん患者カウンセリング」が稼働しています。多職種や院内各部署と密接に連携し、縦断的な専門領域をつなぎ、病院が一つになって診療に当たれるよう横断的強化の一役を担っています。

2 患者さんの苦痛を見逃さない取り組み

全入院患者さんと一部の外来に対し、12項目にわたる症状スクリーニングを実施し、苦痛を見逃さない診療をセンターで支えています。基準を超えると、主治医への連絡はもと

3 症状緩和・がん患者支援外来

より、緩和ケアチームに依頼が来るような仕組みが看護部リンクナース委員会の下、作られています。病棟と緩和ケアセンターの看護カンファレンスが定期的に実施され、緩和ケアセンターカンファレンスに報告され、様々な形でセイフティネットが張られています。

当院の緩和ケア外来は進行がんに加えて、治癒後の長期フォローも行っています。特に、リンパ浮腫は治療数年後経過して症状が出現することが少なく、弾性ストッキング・スリーブは条件を満たせば保険から支給されるため、療養費申請を通してサポートしています。このように様々な心身の問題を抱えたがんサバイバーの方のQOL向上にも取り組んでいます。

4 病院全体の緩和ケアの質の向上を目指して



緩和ケア研修会は年2回（4月末と12月頃）開催し、院内全がん診療医の93%程度の受講率を維持し都内トップクラスです。これによって、病院全体でより質の高い緩和ケアに取り組んでいます。看護の研修会（ELNEC-J）も開催しており、いずれも地域の医療従事者の皆様も参加可能です。

また、より専門的な緩和ケアを学ぶ場の提供として、帝京大学医学部研究科緩和医療の講義をオンデマンドで動画視聴できるよう公開しています（8月〜9月）。

皆様と共にこの地域により一層の質の高い緩和ケアを提供できるようセンター一丸となって研鑽を積み、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



緩和ケアチーム（センター）のウェブサイトはこちら▶



帝京大学医学部緩和医療学講座 教授
緩和ケアセンター長・緩和ケア内科診療科長・緩和ケアチーム長
有賀悦子（あるが えつこ）

1987年 筑波大学医学専門学群卒、東京女子医科大学 腎臓病総合医療センター外科入局
1993年 アメリカ ミシガン大学腫瘍外科リサーチフェロー
1996年 国立がんセンター東病院 緩和ケア病棟医員
1999年 東京女子医科大学 在宅医療・緩和医療学 講師
2003年 国立国際医療センター 緩和ケア科 医長
2008年 帝京大学医学部内科学講座（緩和医療） 准教授、教授を経て
2013年 帝京大学医学部緩和医療学講座（緩和ケア内科）教授・診療科長
2018年9月より現職
2022年より厚生労働科学研究費を得て、がん研究に患者・市民参画を実現するための教育カリキュラム作成に取り組んでいます。

【所属・資格】

- European Association for Palliative Care(EAPC)
- American Society of Clinical Oncology(ASCO)
- 日本緩和医療学会
- 日本癌治療学会
- 日本緩和医療学会 緩和医療専門医

医療連携室より

第10回帝京大学医療連携セミナーを終えて

2023年11月17日(金)、池袋のホテルメトロポリタンにて、第10回帝京大学医療連携セミナーを開催いたしました。今回は新型コロナウイルスの流行を鑑みてWEB開催となったため、対面での開催は4年ぶりでした。当日、約550名の医療従事者の皆様にご参加いただきました。

今回はお申込み方法を、ペーパーレス化のため、WEB申込みのみにいたしました。地域の医療機関の皆様からも多数のお申込みをいただきました。誠にありがとうございます。初めてのお申込み方法でしたので、操作についてお問い合わせをいただいたり、きちんと申込みできているかご心配をおかけした皆様には、大変申し訳ありませんでした。ご参加いただきました皆様をはじめ、ご挨拶賜りました板橋区、東京都北区、豊島区の各医師会長の先生方、当会開催にご協力いただいた各関係部署の皆様がこの場を借りて、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今年のセミナーについて

今回、記念すべき10回目として、我々も入念に準備を進めて参りました。

まず眼科主任教授の井上裕治が「眼科 地域へ貢献する多様な手術」斜視手術、眼瞼手術から硝子体手術まで」という演題で講演し、次に外科教授の落合大樹が「QOL向上を目指す大腸癌治療の実践」という演題で活動報告をいたしました。

そして医療連携室からも課長の栗山より、毎年恒例となっております「活動報告」を行いました。これまでの医療連携セミナーを振り返りながら、当院の歩みと医療連携室が取り組んできたことをお話しし、現在の医療連携室のメンバーをご紹介します。

ご参加いただいた皆様に当院の最新トピックスを知っていただき、また日頃の感謝の気持ち但至少でも伝わり、楽しんでご覧いただけたなら幸いです。

おわりに

当日、急な所用などでご参加いただけなかった皆様も、お申込みのお手数をいただきましたことを、あわせて御礼申し上げます。なお、4年ぶりの対面での運営にあたり、お申込みから当日の運営に至るまで不行き届きの点多々あったかと存じますが、何とぞご容赦いただけますようお願い申し上げます。

次回は、ゼロからのスタートとして再び努力していく所存です。また皆様のお顔を拝見して開催できるよう、準備を進めて参ります。

今後「地域で支える医療」に貢献できるよう、地域医療機関・施設の方々のご協力のもと、院内の職員間の連携を強化し、「地域の皆様に安心していただける高度で質の高い医療を提供する」という目標にむかって邁進して参ります。なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



新路線 帝京大学病院正面経由 国際興業バス発車予定時刻表

赤羽駅西口発

王子駅発

最新の情報は
こちら

赤羽駅西口発				王子駅発			
行先	王子駅行き			行先	赤羽駅西口行き		
番号	赤50 赤50H			番号	赤50 赤50H 王23		
経由	帝京大学病院正面・十条駅			経由	十条駅・帝京大学病院正面		
曜日	平日	土曜	日祝	曜日	平日	土曜	日祝
6	30 N 55	35	35	6	35	38	38
7	20 35 50	00 20 35 50	05 N 30 50	7	05 35 50	08 38 59	08 38
8	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	8	05 20 35 49	19 34 48	05 30 50
9	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	9	01 帝 帝 帝 帝	00 帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
10	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	10	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
11	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	11	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
12	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	12	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
13	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	13	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
14	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	14	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
15	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	15	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
16	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	16	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
17	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	17	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
18	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	18	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
19	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	19	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
20	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	20	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝
21	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	21	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝	帝 帝 帝 帝

王子駅発時刻表



赤羽駅西口発時刻表



帝京大学病院正面玄関
王子駅行時刻表



帝京大学病院正面玄関
赤羽駅西口行時刻表



凡例
 ×…赤羽車庫止まり(赤羽駅にはまいります)
 帝…帝京大学病院正面経由
 N…ノンステップバス(点検等によりスロープ板付きバスに変更となる場合がございます)
 お問い合わせ: 赤羽営業所 TEL 03-3900-1211 FAX 03-3909-5204



上の地図は略図のため、実際の地形とは異なりますのでご注意ください。

- JR埼京線 十条駅**
 - 北口より徒歩約10分
 - ②番のりばより赤羽駅西口行き **赤50H**(約7分) 「帝京大学病院正面」バス停 下車 ※
 - 北口タクシーのりばより約5分
- 都営三田線 板橋本町駅**
 - A1出口より徒歩約13分
 - A1出口より約6分
- JR埼京線 板橋駅**
 - 西口①番のりばより帝京大学病院経由、王子駅行き **王22**(約10分) 「帝京大学病院」バス停 下車
 - 西口より約9分
- JR各線 赤羽駅**
 - 東口⑥番のりばより高円寺駅北口行き **赤31**(約11分) 「姥ヶ橋」バス停 下車徒歩約5分
 - 西口⑥番のりばより王子駅行き **赤50H**(約15分) 「帝京大学病院正面」バス停 下車 ※
 - 西口より約12分
- JR京浜東北線・東京メトロ南北線 王子駅**
 - 北口①番のりばより帝京大学病院経由、板橋駅行き **王22**(約12分) 「帝京大学病院」バス停 下車
 - 北口①番のりばより赤羽駅西口行き **赤50H**(約15分) 「帝京大学病院正面」バス停 下車 ※
 - 北口より約9分
- 東武東上線 上板橋駅**
 - 北口①番のりばより王子駅行き **王54**(約13分) 「姥ヶ橋」バス停 下車徒歩約5分
- 東武東上線 ときわ台駅**
 - 北口①番のりばより王子駅行き **王54**(約9分) 「姥ヶ橋」バス停 下車徒歩約5分
 - 北口より約12分

※ 「帝京大学病院正面」バス停は **赤50H** のみ経由します。時間帯によっては **赤50** の運行となりますのでご注意ください。

※ **赤50** に乗車した場合は、「上十条四丁目」バス停下車徒歩約5分となります。

※ 所要時間は日中平常時、最短時間の目安となっておりますので、時間帯や道路状況により異なります。

※ タクシーをご利用の場合 (B) バスをご利用の場合 (T) 徒歩の場合

帝京大学医師会からのお知らせ

【産業医研修会について】

帝京大学医師会では、日本医師会認定産業医のための産業医研修会を毎年開催しております。帝京大学医学部附属病院で研修を受けながら、認定に必要な50単位を1年間で全て取得することが容易となりますので、是非ご参加ください。開催日程等の詳細は帝京大学医師会ホームページをご覧ください。

帝京大学医師会ホームページ
 URL <http://www.med.teikyo-u.ac.jp/ishikai/workshop/>

▼詳細はこちら

